

がん検診を受けましょう
がん検診で早期発見、早期治療、少ない負担



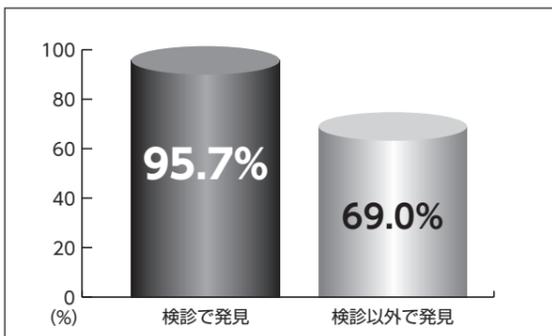
がんは、とても身近な病気です。国民の2人に1人が、がんになり、3人に1人が、がんで亡くなっています。また、がんは自覚症状が出にくい病気です。自覚症状に気が付いて病院を受診した時には、がんが進行した状態で

発見されることが多くあります。しかし、がん検診を受けることで、がんを早く発見することができ、また、早期に治療を行うことができるため、身体的にも経済的にも負担が少なく、がんが治る確率が高くなります。

検診「胃がん・結核肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん」は、いずれも、検診により死亡率を低下させるといわれています。市では、4月から各種がん検診を始めます。

「元気なときは『自分には関係ない』と思っていただけど、がんにかかって初めて知ること、得たものも失ったものもたくさんありました。ある程度予防できるがんもあるし、もしかかったとしても

も早期発見できれば、心も体も、そして経済的にも楽です。自分の体を大切にして、予防や検診に関心を持つてほしい。」
【出典】国立がん研究センター がん対策情報センター



5年生存率の比較（胃がんの場合）
【出典】岡山県におけるがん登録 2010

市で行う「5つのがん」
上は「健康カレンダー」が、検診で発見された場合と、検診以外で発見された場合の5年生存率（がんが診断されて5年後に生存している割合）の比較ですが、生存率は大きく違います。

「がん体験者の言葉」
がん体験者の言葉を紹介します。

<p>かかりやすいがんの順位 検診が行われる5つのがんを年齢別、かかりやすい順に並べています。</p>	<p>20～30歳代女性 ①子宮頸がん ②乳がん</p>
<p>40歳代男性 ①大腸がん ②胃がん ③肺がん</p>	<p>40歳代女性 ①乳がん ②子宮頸がん ③大腸がん ④胃がん ⑤肺がん</p>
<p>50歳代男性 ①大腸がん ②胃がん ③肺がん</p>	<p>50歳代女性 ①乳がん ②大腸がん ③胃がん ④肺がん ⑤子宮頸がん</p>
<p>60歳以上の男性 ①胃がん ②大腸がん ③肺がん</p>	<p>60歳以上の女性 ①大腸がん ②胃がん ③乳がん ④肺がん ⑤子宮頸がん</p>

瀬戸内発見伝

巻之百十五

新たに重要文化財に指定！
朝鮮通信使関係資料

瀬戸内市教育委員会は、平成27年2月17日、本蓮寺（牛窓町牛窓）に伝わる朝鮮通信使関係資料9点を、重要文化財（歴史資料）に指定しました。

通信使が詠んだ漢詩

朝鮮通信使は、江戸時代に朝鮮国王から江戸幕府將軍へ派遣された善隣友好の使節です。本蓮寺は江戸時代初期に使節の接待場所になっており、使節が詠んだ漢詩などが伝えられています。そのうち、寛永20（1643）年、明暦元（1655）年、正徳元（1711）年に来日した正使、副使、従事官、製述官、

書記が詠んだ漢詩で、筆者がはっきりしているもの9点を指定しました（下表参照）。漢詩の内容は、牛窓や本蓮寺の情景にも触れるもので、通信使と地域の交流を明確に示す大変貴重な資料です。そのうちの1つを紹介いたします。

「朝鮮通信使漢詩書軸 従事官申濡筆」(写真掲載)

牛窓の海浜に寺は古き びて僧侶も僅か、竹や藤が 生い茂り日の光をさえ ぎって静寂そのもの。 投宿の旅人は万感こもごも、 眠らずに夜半が過ぎ、

蚊のうなり声だけが勢よく、 門内奥深い部屋にや かしい。

「宿泊した本蓮寺は大変静か、蚊の羽音が雷のよう 大きく、門をふるわせる ほどであった」と詠んでいます。

本蓮寺と通信使

本蓮寺は、14世紀ごろ建てられた法華堂に始まると伝えられ、長祿2（1458）年に「本蓮寺」の寺号を授与さ

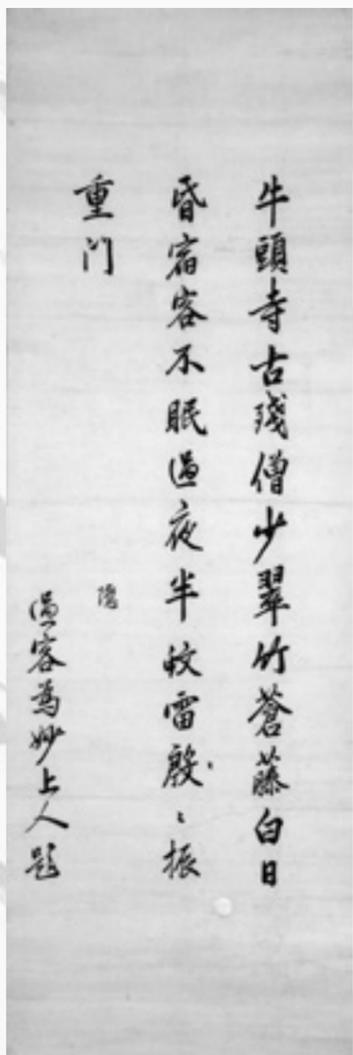
れています。江戸時代、岡山藩が牛窓で朝鮮通信使を接待するようになると、寛永20年度と明暦元年度には本蓮寺が接待場所となりました。その後、接待場所は「御茶屋」に替わりますが、本蓮寺は岡山藩家老の宿舎などに充てられています。こうした歴史的経緯から本蓮寺は、福禅寺（福山市）および清見寺（静岡市）とともに「朝鮮通信使遺跡」として国の史跡に指定されています。

資料名	作者	年代
1 朝鮮通信使漢詩書軸	従事官申濡筆	寛永 20 (1643) 年
2 朝鮮通信使漢詩書軸	従事官申濡筆	寛永 20 (1643) 年
3 朝鮮通信使漢詩書軸	製述官朴安期筆	寛永 20 (1643) 年
4 朝鮮通信使漢詩書軸	正使趙珩筆	明暦元 (1655) 年
5 朝鮮通信使漢詩書軸	副使俞場筆	明暦元 (1655) 年
6 朝鮮通信使漢詩書軸	副使任守幹筆	正徳元 (1711) 年
7 朝鮮通信使漢詩書軸	従事官李邦彦筆	正徳元 (1711) 年
8 朝鮮通信使漢詩書軸	製述官李職筆	正徳元 (1711) 年
9 朝鮮通信使漢詩書軸	書記官南聖重筆	正徳元 (1711) 年

瀬戸内市重要文化財朝鮮通信使関係資料一覧

【参考文献】

『法華宗経王山本蓮寺 寺宝と歴史』「牛窓と朝鮮通信使」「牛窓町史資料編Ⅱ「牛窓町史通史編」



朝鮮通信使漢詩書軸 従事官申濡筆
（撮影：島隆諦）